

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371200649
事業所名	名古屋南ケアセンターそよ風

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	町内会に加入し、回覧板は入居者が隣家へ届けている。小中学生の介護体験を、デイサービスと一緒に受け入れており、その時訪れた子が、運営推進会議中に訪れたことが記録されている。町内の防災訓練につき、運営推進会議で町会長から要請があり、入居者も参加している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	町内会長・地域包括センター職員・入居者家族が参加し、今年度も6回の開催が確認された。「子供の顔を見るととても喜ぶが、子供とのふれあいはありますか？」との家族の質問に「年2回ぐらい、幼稚園児が訪問したり、小中学校児童の介護体験受け入れをしている。それが縁となりよく児童が遊びに来る」ことがホームから報告されている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	地域包括センター職員が運営推進会議に参加した折には、市の「お帰り支援事業」「認知症になっても大丈夫」講演会のお知らせが家族になされた。運営推進会議では「地域で認知症に関するトラブルが出てきた」との報告もされている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族会は、敬老会の家族参加など、年2回、開催されている。運営推進会議でも家族から活発に質問が出されている。ホーム便りは毎月発行され、各ユニットごと入居者の嬉々とした写真を添え、家族も「にこやかな表情を見て、安心できる」と喜ばれている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。